

秦野市地域公共交通計画の評価等について（令和6年度分）

資料 6

基本方針	目標	事業名	令和6年度の評価等
1 利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を目指す	①拠点間及び地域間を移動しやすい地域公共交通ネットワークの形成	事業1 ：路線バスサービスの維持及び利用促進	・基幹公共交通軸の利便性向上について、令和6年12月16日（月）から、従来の平塚駅と東海大学を結ぶ系統の起終点を東海大学前駅南口へ変更し、新たなバス系統「平塚駅北口～東海大学前南口線」として運行を開始した。これにより秦野市と平塚市を繋ぐ路線バスが強化され利用促進を図った。 ・路線バスサービスの維持及び利用促進について、年に複数回、路線バス事業者との協議・調整を行い、路線維持に努めてきた。しかし、2024年問題により全国的にバス運転士の労働力不足が深刻化しており、市内営業所においても例外ではないことから、次年度以降も公共交通の利用促進に向けた周知等を行いつつ、持続可能な路線維持を図りたい。
		事業2 ：乗合タクシーサービスの維持及び利用促進	・乗合タクシーの運行支援について、交通不便地域の解消を担う支線路線は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）の活用や、事業収入により賄えていない運行経費に対しては、不足する費用の半額を補助し、路線を維持した。 ・乗合タクシーの運行方法や運行経路の検証について、対象自治会に対し利用実態把握を目的とした大規模なアンケート調査を実施し、利用者のニーズを把握した。 ・乗合タクシーサービス維持及び利用促進について、自治会回覧、市HP、庁内施設等での周知を行い、利用促進が図られた。
		事業3 ：タクシーサービスの維持及び利用促進	・タクシーサービスの維持及び利用促進について、福祉タクシー利用券や妊産婦タクシー利用を助成し、路線バスなど公共交通の利用困難な方の移動環境の向上を図った。 【実績】 ・妊産婦タクシー 助成件数 57件 助成額 442,230円 ・福祉タクシー 交付者数 1,776人 助成額 23,665,500円
		事業4 ：運転手確保の取組	・運転手確保の取組について、地域公共交通の周知に繋がるイベントとして、東海グローバルフェスタにて運行事業者と協力したバス運転士体験の実施や各運行事業者の従業員募集等に係る啓発を広報はだのにて行った。
		事業5 ：地域の支え合いによる移動支援	・認定ドライバーの育成について、地域支え合い活動として移送を行おうとするボランティア団体の立ち上げ及び福祉有償運送の移送ドライバーとして活躍できる人材の育成を目指し、市HP等を活用して周知を図った。 また、地域支え合い型認定ドライバー養成研修を2回開催し、地域移動サービスを担うドライバーの養成に努めた。 【実績】 ・開催日：令和6年7月2日（火）、11月12日（火） ・合計参加者：34人
		事業6 ：次世代交通を活用した新たな交通サービス	・新たな交通サービスの検討について、近隣市にて行われている自動運転バス実証実験の視察や、様々なシステム事業者とのヒアリング等を行い、次世代交通の可能性を検討した。また、国土交通省が事務局を務める「交通空白」解消・官民プラットフォームへも参画し、積極的な情報収集に努めた。

基本方針	目標	事業名	令和6年度の評価等
1 利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を目指す	②市外への移動を支援するアクセス強化	事業7 ：小田急線の利便性向上と利用促進	・鉄道事業者への要望活動について、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて実施した。このことにより、特急電車の停車本数の増加が実現され、利便性の向上に繋がった。 【特急電車の秦野駅停車本数】 令和5年度 平日：46便、土休日：39便 令和6年度 平日：47便、土休日：43便 ・車両や駅舎を利用したイベントの実施について、昨年7月に秦野駅にて民間実行委員会主催のもと丹沢日和フェスティバルが開催され、駅舎内自由通路や駅前広場等のにぎわい促進が図られた。 ・MaaSの普及と利用促進について、小田急電鉄のMaaSアプリ「EMot」を活用した小田急線（本厚木～渋沢）、神奈中バス指定区間、大山ケーブルのフリーパスに係る啓発を広報はだのにて行った。
		事業8 ：東名高速道路で運行中の高速バスの利用促進	・高速バスサービスの周知について、市HPや広報はだの等を通じて利用促進が図られた。 ・高速バス利用者の利便施設の維持及び検討について、高速バス利用者用の駐車場を維持管理し、また、駐車場から停留所までの行き方を示した動画を市公式YouTubeに掲載したことで利便性向上が図られた。
		事業9 ：新東名高速道路秦野丹沢SAへの新たな高速バス停留所の新設	・高速バス停留所の新設について、秦野丹沢SA発着候補となる運行事業者とのヒアリングや国等関係機関と協議を行い、高速バス停留所開設に向けた検討を行った。
		事業10 ：観光地を巡る周遊交通の検討	・季節運行バスや観光タクシーの運行検討について、春と秋の行楽シーズンに大山ケーブルと鶴巻温泉駅北口を結ぶバスでの運行や市内の桜スポットを巡るため、市内タクシー事業者と協力したお花見タクシー事業を実施した。 【実績】 ・季節バス運行 春 4月6日（土）～6月30日（日）の土日祝29日間 利用者数：1,538人（1便平均17.7人） 秋 9月21日（土）～12月8日（日）の土日祝27日間 利用者数：1,722人（1便平均21.3人） ・お花見タクシー 3月1日（土）～4月20日（日） 利用者数：39人
2 利用しやすい環境整備による利便性向上を目指す	③利用しやすい地域公共交通環境の整備	事業11 ：交通結節点の機能強化及び待合環境の改善	・交通結節点の機能強化及び待合環境の改善について、新たなバス系統「平塚駅北口～東海大学前南口線」の運行に伴い、東海大学前南口駅前広場にてバスベ이의整備等を実施した。
		事業12 ：人にやさしい車両（バス・タクシー）の導入促進	・ノンステップバス等の導入促進について、2台分（1台あたり上限140万円）の支援を行い、交通事業者の負担軽減に寄与した。
		事業13 ：高齢者等の移動支援	・交通弱者の外出機械の支援について、地域支え合い型認定ドライバー養成研修等の実施やノンステップバスの補助により高齢者等の外出機会の支援が図られた。
		事業14 ：公共交通・観光情報の発信	・バスロケーションシステム等利便性向上サービスの周知について、市HPで周知し、利用促進が図られた。
3 多様な主体との連携による持続可能な地域公共交通を目指す	④環境に配慮し協働により支える地域公共交通の構築	事業15 ：環境に配慮した交通の推進	・「はだの交通スリム化促進事業」の実施について、事業者自主参加型エコ通勤デーや、交通スリム化キャンペーン等を通じて、環境問題を提起し、地域公共交通の利用促進が図られた。 - また、エコ通勤など他の模範となる優れた交通環境対策に取り組む事業社3社に対し、秦野市・交通スリム化協力事業所表彰を行った。
		事業16 ：商業施設等との連携	・利用促進サービスとの連携について、商店会等が取り組むキャンペーンに合わせ利用促進が図られた。

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

秦野市地域公共交通計画の評価等結果（６年４月～７年３月）

目標		目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
①年間地域公共交通利用者数	鉄道4駅1日平均乗降者数 【目標値：令和10年度】 102,935人	【事業7】小田急線の利便性向上と利用促進 【事業11】交通結節点の機能強化及び待合環境の改善	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 108,516人（令和5年度実績） 【分析】 目標値を5,581人上回った。	・令和5年度の実績は、目標を達成した。 ・次年度以降も目標達成に向け、運行事業者等と連携し、利用促進を図る。	事業者の有する現時点での最新実績（令和5年）で評価を実施した。
	路線バス年間利用者数 【目標値：令和10年度】 7,230,000人	【事業1】路線バスサービスの維持及び利用促進 【事業4】運転手確保の取組 【事業11】交通結節点の機能強化及び待合環境の改善 【事業12】人にやさしい車両（バス・タクシー）の導入促進 【事業14】公共交通・観光情報の発信	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 8,198,000人（令和5年度実績） 【分析】 目標値を968,000人上回った。	・令和5年度の実績は、目標を達成した。 ・次年度以降も目標達成に向け、運行事業者等と連携し、利用促進を図る。	事業者の有する現時点での最新実績（令和5年）で評価を実施した。
	乗合タクシー年間利用者数 【目標値：令和10年度】 45,611人	【事業2】乗合タクシーサービスの維持及び利用促進 【事業3】タクシーサービスの維持及び利用促進	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 49,498人（令和6年度実績） 【分析】 目標値を3,887人上回った。	・令和6年度の実績は、目標を達成した。 ・令和6年度は乗合タクシー沿線の自治会を対象に、利用実態把握を目的とした大規模なアンケート調査を実施し、地域のニーズを把握しつつ新たな運行方法について検討した。次年度以降は、地域協議会の立ち上げや、新ダイヤ等での運行を目指す。	
②地域公共交通サービスの維持	路線バス系統数 【目標値：令和10年度】 57系統	【事業1】路線バスサービスの維持及び利用促進 【事業4】運転手確保の取組 【事業11】交通結節点の機能強化及び待合環境の改善 【事業12】人にやさしい車両（バス・タクシー）の導入促進 【事業14】公共交通・観光情報の発信	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 59系統（令和5年度実績） 【分析】 目標値を2系統上回った。	・令和5年度の実績は、目標を達成した。 ・次年度以降も目標達成に向け、運行事業者等と連携し、持続可能な系統の維持に努める。	事業者の有する現時点での最新実績（令和5年）で評価を実施した。
	乗合タクシー地区数 【目標値：令和10年度】 4地区	【事業2】乗合タクシーサービスの維持及び利用促進 【事業3】タクシーサービスの維持及び利用促進	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 4地区（令和6年度実績） 【分析】 目標値を達成した。	・令和6年度の実績は、目標を達成した。 ・次年度以降も目標達成に向け、乗合タクシーを維持するため、新ダイヤ等の検討に努める。 ・利用促進のため、乗合タクシーのPRに注力する。	
③市民の地域公共交通の利用割合	鉄道利用者割合 【目標値：令和10年度】 85%	—	—	—	—	計画更新時の市民アンケートにより評価検証を行う。
	路線バス利用者割合 【目標値：令和10年度】 65%	—	—	—	—	計画更新時の市民アンケートにより評価検証を行う。
	タクシー利用者割合 【目標値：令和10年度】 45%	—	—	—	—	計画更新時の市民アンケートにより評価検証を行う。

④地域公共交通に係る行政負担額及び収支率	乗合タクシーの行政負担額 【目標値：令和10年度】 13,438,000円	【事業2】乗合タクシーサービスの維持及び利用促進	実績より	【達成状況】 14,724,000円（令和6年度実績） 【分析】 目標値より1,286,000円負担増となった。	・令和6年度の実績は、目標を未達成となった。 ・次年度以降も乗合タクシーサービスが持続可能なものとなるよう、新ダイヤ等の検討及び利用促進に努める。	
	乗合タクシーの収支率 （対運行経費） 【目標値：令和10年度】 35.6%	【事業2】乗合タクシーサービスの維持及び利用促進	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 36.7%（令和6年度実績） 【分析】 目標値を1.1%上回った。	・令和6年度の実績は、目標を達成した。 ・次年度以降も目標達成に向け、乗合タクシーの収支率向上のため、新ダイヤ等の検討及び利用促進に努める。	
⑤地域との連携による取組	商業施設等との連携による導入件数 【目標値：令和10年度】 3件	【事業16】商業施設等との連携	事業者の有するデータを参照	【達成状況】 2件 （ピーちゃんスタンプ会、おおねスタンプ会） 【分析】 目標値を1件下回った。	・令和6年度の実績は、目標を未達成となった。 ・目標達成に向け、引き続き、地域や商業施設等との連携を図っていく。	
	運転手確保策の実施回数 【目標値：令和10年度】 延4回	【事業4】運転手確保の取組	実績より	【達成状況】 適宜対応 【分析】 運行事業者等と協力し運転手確保の取組を行った。	・令和6年度は、県央やまなみ地域合同でバス運転士募集に係る記事の掲載やTOKAIグローバルフェスタでのバス運転体験等に参加し、運転士解消に向けて啓発を行った。 ・次年度以降も引き続き、関係機関と連携して実施を検討する。	

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。